

平成25年3月4日

1. 出席議員

議長 杉原豊喜
1番 朝長 勇
3番 上田雄一
5番 山口良広
7番 宮本栄八
9番 石橋敏伸
11番 上野淑子
14番 末藤正幸
16番 小柳義和
19番 山口昌宏
21番 牟田勝浩
23番 黒岩幸生
25番 平野邦夫

副議長 山崎鉄好
2番 山口 等
4番 山口裕子
6番 松尾陽輔
8番 石丸 定
10番 古川盛義
12番 吉川里己
15番 小池一哉
17番 吉原武藤
20番 川原千秋
22番 松尾初秋
24番 谷口攝久
26番 江原一雄

2. 欠席議員

なし

3. 本会議に出席した事務局職員

事務局 長 筒井孝一
次 長 松本重男
議事係 長 川久保和幸
議事係 員 江上新治

4. 地方自治法第121条により出席した者

市		長	樋	渡	啓	祐
副	市	長	前	田	敏	美
教	育	長	浦	郷		究
技		監	松	尾		定
政	策	部	角			眞
つ	な	が	宮	下	正	博
營	業	部	森		孝	畑
營	業	部	北	川	政	次
く	ら	し	山	田	義	利
こ	ど	も	蒲	原	惠	子
ま	ち	づ	石	橋	幸	治
山	内	支	成	松		薫
北	方	支	坂	口		勉
会	計	管	浦	川	正	盛
教	育	部	古	賀	雅	章
教	育	部	白	濱	貞	則
水	道	部	松	尾	満	好
総	務	課	中	野	博	之
財	政	課	水	町	直	久
企	画	課	平	川		剛
選	挙	管	末	藤	彰	彦
監	査	委	森		博	文
農	業	委	田	代	昌	三

議 事 日 程 第 1 号

3月4日（月）10時開議

日程第1	会期の決定
日程第2	会議録署名議員の指名
日程第3	議長の諸報告
日程第4	市長の提案事項に関する説明
日程第5	教育長の教育に関する報告

開 会 10時

○議長（杉原豊喜君）

皆さんおはようございます。ただいまより平成25年3月武雄市議会定例会を開会いたします。

会議に入ります前に、先般のアルジェリア人質事件では、武雄市在住の方を初めとして大勢の方々が犠牲になりました。ここに犠牲になられた方々の御冥福を祈り、黙禱を捧げたいと思います。皆さん御起立をお願いいたします。黙禱。

〔黙 禱〕

お直りください。

それでは、ただいまより本日の会議を開きます。

市長から提出されました第1号議案から第37号議案までの37議案を一括上程いたします。

日程第1 会期の決定

日程第1. 会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、議会運営委員長に答申を求めます。吉川議会運営委員長

○議会運営委員長（吉川里己君）〔登壇〕

皆さんおはようございます。平成25年3月武雄市議会定例会の招集に基づきまして、議長より諮問がございましたので、去る3月1日に議会運営委員会を開催いたしまして協議いたしました。その結果について、御報告を申し上げます。

議長からの諮問事項につきましては、第1. 会期及び会期日程について、第2. 付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第3. 一般質問の質問順序について、第4. 各特別委員会の中間報告について、以上4項目でございます。

本定例会において審議されます議案は、ただいま議長から上程になりました条例議案13件、事件議案3件、予算議案21件の計37件でございます。

なお、追加議案として補正予算議案2件、人事案件3件が予定をされておるところでございます。

以上の件につきまして協議いたしました結果、議案の審議につきましては議案番号順に、そして、委員会付託の可否につきましては第17号議案 平成24年度武雄市一般会計補正予算（第11回）及び第26号議案 平成25年度武雄市一般会計予算につきましては所管の常任委員会に分割付託することとし、その他の議案につきましては所管の常任委員会に付託することと決定をいたしました。

なお、19日の議案審議につきましては午後1時開議と決定をしたところでございます。

次に、一般質問は16名の議員から59項目の通告がなされております。抽せん結果につきましてはお手元に配付のとおりで、質問順序は抽せん番号順に行い、1日目の12日は5名、2日目の13日と3日目の14日はそれぞれ4名、いずれも午前9時開議といたします。4日目の15日は3名とし、午後1時開議と決定をいたしましたところでございます。

また、質問時間につきましては答弁を含めて90分であります。

次に、各特別委員会の中間報告でございますが、18日の議案審議に先立ち報告を行っていただくこととなりました。各特別委員長におかれましては、よろしく願いをいたします。

以上のことを考慮いたしまして検討いたしました結果、会期は本日4日から27日までの24日間は適当である旨、決定をしたところでございます。

なお、日程の詳細につきましてはお手元に配付のとおりでございます。

以上で議長からの諮問事項に対する答申を終わります。

○議長（杉原豊喜君）

お諮りいたします。会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日4日から27日までの24日間と決定いたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は本日4日から27日までの24日間とすることに決定いたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第2. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第88条の規定により、8番石丸議員、11番上野議員、15番小池議員の以上の3名を指名いたします。

日程第3 議長の諸報告

日程第3. 議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告については、お手元に配付いたしております文書をもって報告にかえさせていただきます。

日程第4 市長の提案事項に関する説明

日程第4. 市長の提案事項に関する説明を求めます。樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

私の提案事項に入ります前に、先ほど黙禱をいただきましたアルジェリアにおける人質事件について、武雄市民も犠牲になりました。ここに改めて、市民を代表いたしまして深く哀悼の意を表し、心より御冥福をお祈り申し上げますとともに、謹んで御遺族にお悔やみ申し上げます。

まず、武雄市図書館のリニューアルオープンについてであります。

昨年11月からの武雄市図書館の改装工事が完了いたしました。4月1日には、新たにカルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC）の運営のもと、リニューアルオープンいたします。これまでの説明どおり、今回、特に市民の要望が多かった年中無休、365日、朝9時から夜9時までの開館を実現させます。その上で、スターバックスコーヒーやT S U T A Y Aの併設、さらに、ポイント制の導入やコンシェルジュの配置など「図書館を超える図書館」としてのサービスを提供いたしてまいります。市民福祉の維持向上、市民価値の最大化は私の使命と心得ております。これは4年前の市民病院もしくり、今回の図書館もしくり、そのためには今後も前例や既成概念、既得権益にとらわれることなく市政運営に当たりたいと考えております。

なお、図書館におきましては、きょうから事前入会を開始いたしております。4月のオープン以降は非常に混雑が予想されておりますので、ぜひ武雄市議会の皆さん方を先頭に今日からの事前入会をお願いしたいと思っております。その上で、スターバックスコーヒーも1杯つけたいと思っておりますので、ぜひお越し願いたいと思います。

そして、きょうから市民ボランティアを急募いたします。今、図書館におきましては段ボールを搬入し、そして、どんどん図書を所定の本棚に入れる作業をしております。何分20万冊弱ありますので、3月9日に建築基準法に基づく検査、消防法に基づく消防検査等が入ります。それがありますので、ぜひ登録の上、身分を証明できるものをお持ちの上、登録をしていただいた上で、ぜひ慈善の市民ボランティアとして参加をお願いしたいと思っております。これも議員の皆様方、先頭にぜひお願いをしたいと思っております。

さて、次の「みんなのバス」の本格運行開始であります。

平成22年9月に実験運行を開始し、これまで北方、山内、若木、武内の4町で実施をしたところであります。市民の身近な交通手段として、昨年末までに延べ約3万5,000人の市民に御利用いただいたところであります。今回、実験運行の結果を踏まえ、地域交通の武雄モデルとして本格運行に移行いたします。まあ、私はただでもよかったんですが、やっぱりただよりも、利用者の皆さん方からぜひお金を取って、なるべく長く運行してほしいという御要望に基づき、新たに200円の料金をいただくこととなります。200円の料金をいただくこと

となりますが、先ほど申したとおり、末永く市民に愛され御利用いただける身近な交通手段として運営をしていきたいと思っております。

次に、上下水道部への組織改編についてであります。

これは前議会の松尾陽輔議員、古川盛義氏両議員の質問への答弁どおり、事業の効率化、透明化のため、公共下水道、農業集落排水、戸別浄化槽の3事業会計を一元化いたします。さらには、将来の企業会計化についても研究、検討を行いたいと思っております。そのためには、既に企業会計を導入している上水道との連携が必要となります。また、申し込みや徴収、管理など両事業の共通事務、共通業務や窓口を一本化することで、手続の簡素化など市民サービスの向上に寄与してまいりたいと思っております。

そこで、従来まちづくり部にあった下水道課を水道部に移管させます。上水と下水の業務を一元的に行う上下水道部とする組織改編を実施いたします。本議会では、これに必要な関連条例の改正案を提出させていただきます。ただし、実施時期については本年の8月1日付とし、その間を市民の皆様方への周知、下水道課の移転準備のための期間として確保してまいりたいと思っております。

次に、若木町本部地区のメガソーラー稼働についてであります。

昨年11月、若木町本部の本部ダム湖畔工場適地、約2.1ヘクタールで、株式会社九電工によるメガソーラー施設の整備工事が着工したところであります。これまでの間、牟田議員を中心とする若木町振興推進協議会並びに区長会の皆様方には、今でも御協力を賜っております。この場をかりて御礼を申し上げたいと思っております。

現地では約4,100枚のソーラーパネルを敷設、3月末には施設が完成、試運転、調整を経て、4月末には本格稼働を予定しております。武雄市初のメガソーラーとなる本施設では、約1メガワット、一般家庭約300軒分に相当する電力を発電予定しています。杉の木約2万1,000本のCO₂削減効果を見込んでおります。市内では、既に株式会社中山鉄工所が500キロワットの太陽光発電施設を稼働してもらっています。今後も官民連携で、武雄市での再生可能エネルギー発電施設の整備、電力の地産地消を促進してまいりたいと思っております。

次に、FB良品であります。

自治体通販として始まったFB良品、これは一昨年11月7日に武雄市が単独で始めたところ、現時点で全国10自治体を数えることとなっております。ことしで恐らく20から30自治体、全国の自治体が加盟してくださることになります。アマゾン、楽天に続く通販の第三極を目指してまいります。

その一方で、やはり地方の逸品をより多く提供するためには、さまざまなシステムの改変が必要であります。これは武雄市の財政にお願いをすることなく、FB良品の加盟自治体からいただいた貴重なお金で、システム開発であるとか、あるいは営業であるとか、あるいは広告等を打ってまいりたいと思っております。この狙いは、武雄市のみならず地域の所得の

維持向上のために行うものであります。ぜひ皆様方も宣伝、そして、市民の皆さんたちが自分たちの周りに住む方々が丹精込めているものを買っていただくということが、市民福祉の維持向上につながっていくと思っておりますので、ぜひそういった意味での議員の皆様方の御協力をお願いしたいところであります。

そして、日本のたった1億2,000万人の市場はもう飽和状態であります。先般、シンガポールに参りましたけれども、ASEAN 6億人を基軸とする市場に果敢に参入をしてみたいと思っております。これは何も、諸外国のものを武雄、あるいは日本の地域で使用するのではなくて、私どもが本当に丹精込めてつくったものを、アジアの皆様方、世界の皆様方に堪能していただくと。それによって、また市民の所得の向上につながるものと考えておりますので、ことしの10月をめどにシンガポールに現地の事務所を置きたいと思っております。これについても議会とよく相談しながら慎重に進めてまいりたいと、このように考えております。

次に、被災地支援であります。

今、御存じのとおり、武雄市では古賀龍一郎、上田哲也両名を陸前高田市に出向させております。この2名体制は来年度も続けてまいりたいと思っております。その一方で、私どもとしては、やはり同じ日本人として、日本に住む者として、できることは最大限行いたいと思っております。これは単に官だけではなくて、私は婦人会に本当に感謝申し上げたいと思います。私たちが知らないところで、地域婦人連絡協議会は本当によくやっけていただいております。そういったいろんな志のある団体であるとか企業の皆さんとともに、被災地支援をまた行ってまいりたいと考えております。

その中で、3月10日、これは議会にも杉原議長にも御配慮賜りましたけれども、小池被災地支援特別委員長とともに陸前高田市の式典に参列をしてみたいと思っております。そしてまた、小池前副議長とともに、被災地のニーズをきちんと酌み取って、また武雄市議会、市民の皆さんたちによくお諮りをしたいと、このように考えております。テレビで見る限りでは、被災地の復興、まだまだ道遠し、また道険しであります。我々が微力でありながらも、やはり微力は無力ではないと思っております。我々微力を結集して、本当に日本の再興、東北の再興とともに目指してまいりたいと、このように考えておりますので、ぜひ議会の皆さんたちの御理解、御協力を賜ればありがたいと思っております。

次に、国の経済対策への対応等についてであります。

国では今般、日本経済再生に向けた緊急経済対策として13.1兆円の補正予算が組まれております。今回、武雄市としては、国の経済対策に呼応して平成24年度補正予算で対応する事業費として13億4,000万円を確保しております。具体的には、道路の安全点検、防災事業や農業の暗渠排水の整備、学校施設の整備、改修などを行うこととしており、平成24年度補正予算分を加えた平成25年度に実施する投資的事業費は46億9,000万円となります。武雄市と

いたしましては、今後とも国の動きに即応、交付金等を積極的に活用することで市民負担をなるべく軽減をし、そして、ふやさない方向で市政の各種事業プロジェクトの推進を図っていく所存であります。

最後になりますけれども、今、武雄市は明るい兆しが見えております。各種統計データでも、武雄短観であったりとか、さまざまな統計データでやっと明るさが出てきております。少し具体的に申し上げますと、行政視察、平成24年の見込みでは200件、1,500人の皆さんたちが全国からお越しになります。恐らくこれ以上になると思いますが、本当にこれは議会の皆さん、市民の皆さんたちのおかげであります。この方々が市内に平日泊まることによって、さまざまにお金を落としていただくと。これがまた、市民の所得の維持向上につながってまいります。これを具体的に、今、オルレであったり、さまざまなイベントだったり、これを実際の所得につなげていきたいと思っていますので、ぜひ今回の一般質問でも、そういった後ろ向きな話ではなくて前向きな話をぜひ提言としてお願いをしたいと、このように考えております。

おかげさまをもちまして、浅学非才の私が、去年からそうなんですけれども、例えばAERA、あるいは日本経済新聞社から日本を立て直す100人に選ばれて、先日ではフランスのフリーペーパー、非常に日本人社会に影響を持つフリーペーパーで日本の50人に選ばれたところでもあります。これは私だけじゃどうにもなりません。今まで7年間、議会の皆さんたちから支えていただき、そして、市民の皆さんたちから温かい御支援をいただいた結果であります。こういった結果を今度は成果にきちんと結びつけていくように、また、議会の皆様方の御指導、御鞭撻をお願い申し上げますとともに、ことしが2期目の最後の年になります。そういった中で、今まで私、遠慮しておりました。やっぱり既得権益とかいろいろあるわけですが、そういったことをやっぱり市民に、原点にまた立ち戻って、市民福祉の維持向上、そして市民価値を増進すべく、皆様方からの御支援をいただきながら、そして、これは御批判もあっていいと思います。いただきながら、多聞第一、市政運営を務めていくことを最後にお約束申し上げます、私の25年3月の市長提案とさせていただきます。

御清聴ありがとうございます。

○議長（杉原豊喜君）

前田副市長

○前田副市長〔登壇〕

それでは続きまして、今定例会に提出しております議案について、その概要を御説明申し上げます。

まず、条例議案につきましては新規制定条例が6件、一部改正条例7件を提案しております。

まず、新規制定条例について御説明を申し上げます。

武雄市新型インフルエンザ等対策本部条例につきましては、新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、新型インフルエンザ等対策本部の設置に関し、必要な事項を定めるものでございます。

次に、武雄市市道の構造の技術的基準を定める条例外4件の新規条例は、いわゆる地域主権改革一括法の施行に伴い、関係する条例の整備を行うものであります。

次に、一部改正条例について主なものを申し上げます。

武雄市部設置条例等の一部を改正する条例は、先ほど市長が申し上げましたが、本年8月1日から上下水道部を設置し、上水道と下水道に関する業務を一元管理する組織・機構の見直しに伴うものでございます。

次に、武雄市武雄北方インター工業団地等企業誘致条例の一部を改正する条例は、企業立地の促進のため、用地取得補助金の期限を平成27年3月31日まで2年間延長するための改正であります。

次に、事件議案につきましては、市道路線の認定について外2件を提案しております。

続きまして、予算議案につきまして主なものを御説明申し上げます。

まず、25年度の予算議案につきましては、平成25年度武雄市一般会計予算の外9件の特別会計予算と2件の公営企業会計予算を提案しております。

一般会計予算では、小・中学校、市営住宅等の老朽化対策、防災・減災対策の充実など、直面する課題に対し重点的に予算の配分を行ってまいります。

まず、新たな課題への対応として、市外からの定住と企業促進を図るため、新たな起業モデル構築事業などを行うことにしております。

次に、平成24年度補正予算議案では、平成24年度武雄市一般会計補正予算（第11回）外、特別会計補正予算等8件を提案しています。一般会計では、事業費の最終見込みによる調整等と国の経済対策で措置されました補助金を活用して、社会インフラの安全確保のため、道路等の総点検の補修、老朽化した北方小学校屋内運動場や武内公民館整備に要する経費をお願いしております。

そのほか、財政調整基金、公共施設整備基金への積み立てに要する経費を計上し、将来の財政需要等に備えることといたしております。

以上で提出議案の概要の説明を終わりますが、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

日程第5 教育長の教育に関する報告

○議長（杉原豊喜君）

日程第5. 教育長の教育に関する報告を求めます。浦郷教育長

○浦郷教育長〔登壇〕

教育に関する報告を申し上げます。

学校教育について申し上げます。

今年度、新規事業として文部科学省委託の栄養教諭を中核とした食育推進事業に取り組みました。給食の時間を5校時と位置づけ、給食も授業として捉えて指導し、2月8日には実践発表会を開催しました。

また、北方中学校ではコミュニティースクール推進事業に取り組み、地域の方の考えを取り入れた学校運営を行いました。

昨年末に、全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査の学校別結果を公表し、その後、学力向上タウンミーティングを中学校区ごとに開催し、市民総参加の教育基盤の醸成を図ったところです。

1月25日には、九州各県から1,000人を超える参加者を得て、九州小学校国語科教育研究大会を本市で開催しました。市内小・中学校の言語力向上の取り組みを高めるよい機会となりました。

学校施設の整備につきましては、武雄小学校の校舎解体が昨年12月で完了し、1月から建築工事に着手しました。

続きまして、生涯学習について申し上げます。

武雄市図書館・歴史資料館につきましては、文化会館内に設けておりました臨時図書館を2月28日で閉館し、現在は4月1日のリニューアルオープンに向けて準備を進めているところです。

1月3日の成人式は新成人510名が集い、実行委員の運営で盛大に挙行することができました。

武雄市文化サークルフェスタには31のサークルが参加し、日ごろの活動の成果を発表いたしました。

また、平成23年5月に開校いたしました武雄市民大学は2年間の課程を修了し、2月17日、第1期生120名の卒業式を行いました。

青少年教育としましては、わんぱくスクールスキー研修、北海道雄武町での児童交流などで、子どもたちは厳しい寒さを体験しながら交流を深めてまいりました。

1月20日開催のトムソーヤジャンボリーで、子どもたちは学校や地域での活動を元気に発表してくれました。この日を、市民総ぐるみで教育を考える日として「たけお教育の日」と定めております。

生涯スポーツの推進につきましては、2月10日に第5回武雄市長杯ファミリーフットサル交流会を開催したところ、年々参加者もふえ、今年は37チーム414名の参加があり、フットサルを楽しみながら交流を深めることができました。

2月15日から17日まで行われた第53回郡市対抗県内一周駅伝大会では、武雄市選手団は役員、選手一丸となって健闘され、総合で第7位の成績をおさめられました。

次に、文化振興事業では、武雄市民ジュニアウインドオーケストラ育成事業に市内中学校の吹奏楽部員が参加して、1月14日に文化会館大ホールで発表会を開催いたしました。

また、こどもあーとDEスマイルオフィスも継続しており、市役所、山内支所、北方支所、文化会館小ホール棟の通路に子どもたちの力作を展示しておりますので、市民の皆様方もぜひご覧ください。

文化財関係では、武雄が生んだ偉人、山口尚芳翁の功績をたたえた範蔵まつりが、1月12日に花島自治公民館で厳かに行われました。

1月26日には、第59回全国文化財防火デーにちなみ、武雄温泉周辺で火災防御訓練が実施され、文化財を後世に伝える取り組みとなりました。

また、2月13日の武雄市文化財保護審議会では、「肥前一国絵図」「五嶋図」及び「肥前一国道則帳」を武雄市重要文化財に指定するよう答申がなされました。

以上、教育に関する報告をいたしました。

なお、主な行事等につきましては別紙一覧表にお示ししたとおりであります。

今後とも、さらなる御指導、御鞭撻をお願い申し上げまして、教育に関する報告とさせていただきます。

○議長（杉原豊喜君）

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。どうもお疲れさまでした。

散 会 10時27分